

防 災 航 空 行 政

第4 防災航空行政

1 概要

近年、気候変動や社会経済の進展などにより、災害の態様もますます複雑、多様化し、また大規模化する傾向にある。

このような状況の中、県民の尊い生命と貴重な財産を守り、県民生活の安全と安定を確保するためには、より質の高い広域的かつ迅速な消防防災活動を展開することが必要となってきた。

このため、本県においては、空中停止、垂直離着陸が可能な防災ヘリコプターを平成5年4月に導入し、県内の消防防災機関と連携のもと、救急救助や消火活動、災害時における被害状況調査、緊急物資の輸送等に活用しており、平成29年9月に新機体に更新し、県内消防防災体制のさらなる充実強化を図っている。

2 防災ヘリコプターの性能・諸元

- (1) 名称 三重県防災ヘリコプター「みえ」
- (2) 機種 レオナルド式 AW139型
- (3) 性能・装備品等 (P. 110～111 参照)

3 防災ヘリコプターの用途

(1) 救急活動

- ア 救急車で搬送するよりも病院到着までの時間を短縮できる傷病者の搬送
- イ 傷病者発生地への医師の搬送及び医療器材等の輸送
- ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の転院搬送
- エ 移植のための臓器搬送
- オ その他救急活動上、有効と認められる活動

(2) 救助活動

- ア 河川、海等での水難事故等における捜索・救助
- イ 山岳遭難事故等における捜索・救助
- ウ 高層建築物火災による救助
- エ 山崩れ等の災害により、陸上から接近できない被災者等の救出
- オ 高速道路及び自動車専用道路上での事故で、地上から収容、搬送が不可能と認められる救助
- カ その他救助活動上、有効と認められる活動

(3) 災害応急対策活動

- ア 地震、台風、豪雨等の災害の状況把握
- イ 津波情報等の広報及び海面の監視
- ウ 離島、被災地等の孤立場所等への緊急物資、医薬品等の輸送及び応援要員、医師等の搬送
- エ ガス爆発事故、高速道路等での大規模事故等の状況把握
- オ 各種災害等における住民への避難誘導及び警報等の伝達
- カ その他災害応急対策活動上、有効と認められる活動

(4) 火災防御活動

- ア 林野火災等における空中からの消火
- イ 火災における情報収集、伝達、住民への避難誘導等の広報
- ウ 交通遠隔地への消火資器材、消火要員等の輸送
- エ その他火災防御活動上、有効と認められる活動

(5) 広域航空消防防災応援活動

緊急消防援助隊の関係規定及び他県等との相互応援協定等に基づく活動

(6) 防災対策活動

- ア 災害危険箇所等の調査
- イ 住民への災害予防の広報
- ウ その他防災対策上、必要と認める活動

4 運航体制

(1) 組織

平成5年4月1日に消防防災課防災航空係（現消防・保安課防災航空班）を設置し、三重県防災航空隊と呼称（県内の消防本部から派遣の消防職員を県職員に併任発令し、9名で構成）

(2) 航空隊基地

津市伊勢湾ヘリポート（津市雲出鋼管町2-2）

(3) 運航管理業務

操縦、整備点検等運航の管理は、中日本航空株式会社に委託

(4) 運航時間

日の出から日没まで

5 緊急運航の要請方法

(1) 要請者

市町長等（消防事務に関する一部事務組合の機関の長を含む）

(2) 要請先

消防・保安課 防災航空班（防災航空隊）に電話及びファックスにより要請

(3) 防災航空隊への連絡方法

- ・ 事務用電話 059-235-2555、2556
- ・ ファックス 059-235-2557
- ・ 緊急運航要請専用電話 059-235-2558
- ・ 防災行政無線ファックス（地上系） 8 * 145

(4) 緊急運航の要件

緊急運航は、原則として次の要件を充たす場合に運航することができるものとする。

ア 公共性

地域並びに地域住民の生命、身体、財産を災害から保護することを目的とすること。

イ 緊急性

差し迫った必要性があること。(緊急に活動を行わなければ、県民の生命、身体、財産に重大な支障が生ずるおそれがある場合)

ウ 非代替性

防災ヘリコプター以外に適切な手段がないこと。(既存の資機材、人員では十分な活動が期待できない、又は活動できない場合)

6 防災ヘリコプターの性能・各種装備品

(1) 概要

- ア 製造会社……………レオナルド S. p. A. 社製 (イタリア)
- イ 型式名……………レオナルド式 AW139型
- ウ 全長／全幅／全高……………16.6m／4.2m／4.9m
- エ 主回転翼……………直径13.8m
- オ エンジン (2基) …… 最大出力3,358SHP

(2) 性能

- ア 最大搭乗者数……………14名 (操縦士含む)
- イ 空虚重量……………約4,600kg
- ウ 最大離陸重量……………6,800kg
- エ 航続距離……………798km
- オ 航続時間……………約3時間53分
- カ 最大速度……………310km/h
- キ 高度限界……………6100m

(3) 主要装備品

[防災用装備品]

- ア 空中消火装置 (バケツ型の消火器具を機体下に吊り下げ、機内より操作して使用)
 - ※ 消火バケツ 容量1,000L
- イ ヘリコプターテレビ伝送システム (可視カメラ・赤外線カメラで撮影した画像を受信局へ送信)
- ウ 投光装置 (サーチライト) (夜間における地上の各種活動支援、捜索等に使用)
- エ 機外拡声装置 (災害時の避難誘導、各種広報等に使用)
- オ ホイスト装置 (隊員の降下・引き上げ、要救助者の救助等を行う装置)
 - ※ 272kg まで吊り上げ可能、ケーブル長約88m
- カ ストレッチャー装置 (救急用ストレッチャー) (救急活動時、傷病者を機内へ収容するために使用)
- キ 無線装置 防災行政用 (150MHz・アナログ)、消防用 (260MHz・デジタル)
防災ヘリコプター通信用 (260MHz・デジタル)

[飛行用装備品等]

- ア 無線装置 (航空用120MHz・アナログ)
- イ 気象用レーダー (経路上及び周辺の気象状況を、夜間及び視野不良状態でも、操縦士が十分に把握できる装置)
- ウ 電波高度計 (電波により高度を求めるものであり、山岳地帯での飛行に有効)
- エ 応答高度計 (航空管制官に機体の位置、高度を知らせる計器で、この計器がないと主要航空管制区域への進入が許可されない)

- オ 機内乗員通話装置（パイロット、乗員等が相互に通話を行うために必要な装置）
- カ 空中衝突警告装置（機体から電波を出すことにより、機体間の位置を把握し、警告することにより衝突を防止する）
- キ 緊急位置発信装置（遭難時において無線電波を発信し、避難位置を知らせるための装置）
- ク ワイヤークッター（コクピットの機外上方と機首下面に鋭い剣先のような刃物で、航行上において索道等に遭遇し危険を回避できない場合にケーブルを切断し、安全を確保する）

(4) 購入価格

機体本体及び特別装備品 1,678,000,000円（消費税込）

(5) 購入先

三井物産株式会社中部支社

(6) 搭載資器材

[救急用資器材]

生体情報モニター 除細動器 蘇生バッグ 自動吸引器 頸椎固定カラー
ソフトシーネ 酸素投与器具一式 その他

[救助用資器材]

エバックハーネス デラックスサバイバースリング レスキュースリング
ヘリタックホットシート レスキューストレッチャー 折り畳み式バックボード
フルボディハーネス GPS ロープ カラビナ ライフジャケット
ウェットスーツ ドライスーツ マスク フィン シュノーケル ブーツ
グローブ 浮環 その他

[その他資器材]

テント シュラフ ランタン ザック 訓練用ダミー モッコ 物資バック
その他

第1表 令和4年度防災ヘリコプター運航状況 (JA119M)

区 分		月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	総 計	
緊 急 運 航	救急活動	件数		2			1	4	3	3	6	1		4	24	60件 63:11	
		時間		00:45			00:08	01:26	00:59	03:39	02:14	00:58		03:47	13:56		
	救助活動	件数	3	5			1	6	4	3	8	1		2	33		
		時間	08:49	08:55			01:41	06:18	04:27	03:10	06:27	00:36		04:49	45:12		
	火災防 御活 動	件数											1	2	3		
		時間											01:43	02:20	04:03		
	災 害 応 急 対 策 活 動	件数													0		
		時間													00:00		
	受 援	件数	2	5	15	8	6			1		2			39		39件
	災 害 予 防 運 航	自隊訓練	件数	13	4			5	14	18	9	19	14	14	19		129
時間			18:10	04:49			07:46	19:00	27:39	11:42	31:55	22:41	20:42	30:46	195:10		
県 関 係 防 災 訓 練		件数	3						4	2		1		1	11		
		時間	02:02						04:57	01:37		01:02		00:20	09:58		
市 町 村 防 災 訓 練		件数	1	1				1	4	6		3			16		
		時間	00:49	01:19				00:40	05:23	06:50		03:03			18:04		
災 害 危 険 個 所 調 査		件数													0		
		時間													00:00		
そ の 他 運 航	一 般 行 政 飛 行	件数							1	1	1				3	27件 29:26	
		時間							01:18	01:32	01:25				04:15		
	試 験 飛 行 そ の 他	件数		10			5	2		2		1	4		24		
		時間		15:44			06:19	00:24		00:27		00:15	02:02		25:11		
合 計	件数	20	22	0	0	12	27	34	26	34	21	19	28	243件			
	受 援 件 数	2	5	15	8	6	0	0	1	0	2	0	0	39件			
	時 間	29:50	31:32	00:00	00:00	15:54	27:48	44:43	28:57	42:01	28:35	24:27	42:02	315:49			
運 航 実 日 数	日 数	16	14	0	0	9	17	22	16	23	15	16	21	169日			
運 航 休 止 日 数	日 数	7	16.5	30	31	26.5	9	2.5	5.5	4	14	6	2	154.0日			

第2表 令和4年度 緊急運航活動概要

出動件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行時間
1	水難	R4.4.16(土)08:34 ○串本町消防本部 <発生場所> 和歌山県東牟婁郡 串本町潮岬 望楼の芝生 潮風の 休憩所付近(クレ崎)	夫が写真撮影のため磯に降りて行き、その後、連絡が取れなくなったとの通報により救助の要請があったもの。 和歌山県防災ヘリ「きしゅう」は点検中のため、「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」に基づき出動する。 串本町波の浦港付近から潮岬付近までの沿岸部を捜索するも発見には至らず。燃料給油のため南紀白浜空港へ着陸。 現場指揮隊から再度捜索の要請を受け南紀白浜空港を離陸、現場付近からの上空を捜索するも発見には至らず。 捜索終了後、南紀白浜空港にて燃料給油し帰投する。 ① 出 動 ——— 08:13 現 着 捜 索 ——— 08:57 現 場 離 脱 ——— 10:14 白 浜 着 陸 ——— 10:30 ② 出 動 ——— 11:39 現 場 到 着 ——— 11:53 現 場 離 脱 ——— 13:09 白 浜 着 陸 ——— 13:24 白 浜 離 陸 ——— 14:01 帰 隊 ——— 14:57	4:58
2	山岳	R4.4.23(土)11:25 ○四日市市消防本部 <発生場所> 四日市市水沢町鎌ヶ岳 岳峠鎌尾根岩場付近	鎌ヶ岳鎌尾根上の岩場から人が転落したとの通報により、救助の要請があったもの。現場付近を捜索するも発見に至らず、地上消防隊の現場到着及び日没まで時間があったことから、航空隊員2名を降下させ、地上での情報収集及び捜索を指示した後、防災ヘリは燃料補給のため一時帰投する。 その後、降下させた航空隊員から地上消防隊と接触した旨の連絡を受け、要請元消防本部と今後の活動調整を行い、要救助者発見の際、改めて支援要請を受けることとし、基地離陸する。地上消防隊と救助ポイントの確認等を行い航空隊員2名を機内収容し基地帰投する。 ① 出 動 ——— 12:06 現 着 捜 索 ——— 12:20 現 場 離 脱 ——— 13:18 帰 隊 ——— 13:29 ② 出 動 ——— 15:21 現 場 到 着 ——— 15:35 現 場 離 脱 ——— 15:54 帰 隊 ——— 16:08	2:10
3	山岳	R4.4.25(月)11:25 ○四日市市消防本部 <発生場所> 四日市市水沢町鎌ヶ岳 岳峠鎌尾根岩場付近	No.2に引き続き要請があったもの。 現場付近を捜索するも発見に至らず、基地帰投する。 出 動 ——— 12:03 現 着 捜 索 ——— 12:16 現 場 離 脱 ——— 13:30 帰 隊 ——— 13:44	1:41
4	水難	R4.5.1(日)17:27 ○熊野市消防本部 <発生場所> 熊野市大泊町 木本港(松崎) 堤防付近	堤防付近で5名で釣りをしている男性1名が行方不明となり、熊野市消防本部と海上保安庁で連携して捜索活動を実施するも発見に至らず、上空からの捜索が必要と判断され支援要請されたもの。捜索を実施するも発見には至らず帰投する。 ① 5月2日 ② 出 動 ——— 08:56 出 動 ——— 13:03 現 着 捜 索 ——— 09:24 現 場 到 着 ——— 13:30 現 場 離 脱 ——— 10:25 現 場 離 脱 ——— 14:31 帰 隊 ——— 10:52 帰 隊 ——— 14:59	3:52
5	山岳	R4.5.4(水)16:40 ○紀勢地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 多気郡大台町菌地内 滝頭不動滝付近林道	林道をオートバイで走行中の男性が約3m滑落し、救助の要請があったもの。 現場上空到着後、航空隊員2名を降下させ要救助者をレスキューストレッチャーにて機内収容する。 出 動 ——— 17:01 現 着 捜 索 ——— 17:15 救 助 開 始 ——— 17:25 救 助 完 了 ——— 17:56	0:55
6	救急 救助から の移行	R4.5.4(水)16:40 ○紀勢地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 多気郡大台町菌地内 滝頭不動滝付近林道	救助後、伊勢赤十字病院へ直接搬送し、医師及び看護師に引継ぐ。 出 動 ——— 17:56 収 容 先 着 ——— 18:08 引 継 完 了 ——— 18:15 帰 隊 ——— 18:24	0:21

出動件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行時間
7	山岳	R4.5.8(日)12:21 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町菰野地内 鎌ヶ岳三ツ口谷付近	50代男性が倒れているとの通報により、救助の要請があったもの。 現場上空到着後、地上隊及び要救助者を確認したが、気流が悪く救助活動不可能と判断。現場上空を離脱し帰投する。 出 動 ————— 13:02 現着 捜索 ————— 13:15 現場 離脱 ————— 14:10 帰 隊 ————— 14:22	1:20
8	山岳	R4.5.8(日)16:45 ○紀勢地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 多気郡大台町地内 古ヶ丸山山頂付近	5名パーティーの内女性1名が約30m滑落し、救助の要請があったもの。 現場上空到着後、地上隊及び要救助者を確認したが、航空救助活動限界時間のため、救助活動不可能と判断。現場上空を離脱し帰投する。 出 動 ————— 17:46 現着 捜索 ————— 18:00 現場 離脱 ————— 18:14 帰 隊 ————— 18:27	0:41
9	山岳	R4.5.8(日)20:30 ○紀勢地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 多気郡大台町地内 古ヶ丸山山頂付近	前日より要救助者及び地上消防隊はビバークし、防災航空隊へ再度、救助要請されたもの。 5時12分 伊勢湾ヘリポート離陸、現着するも天候不良により帰投する。 8時53分 伊勢湾ヘリポート離陸、現着し地上消防隊及び要救助者を確認するも天候不良により救助活動不可能と判断し帰投する。 10時27分 伊勢湾ヘリポート離陸、現着し地上消防隊及び要救助者を確認する。エバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 5月9日 ① 出 動 ————— 05:12 現着 捜索 ————— 05:27 現場 離脱 ————— 05:27 帰 隊 ————— 05:48 ② 出 動 ————— 08:53 現場 到着 ————— 09:05 現場 離脱 ————— 09:28 帰 隊 ————— 09:43 ③ 出 動 ————— 10:27 現着 捜索 ————— 10:40 救助 開始 ————— 10:53 救助 完了 ————— 11:08	2:07
10	救急 救助からの 移行	R4.5.8(日)20:30 ○紀勢地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 多気郡大台町地内 古ヶ丸山山頂付近	救助後、伊勢赤十字病院へ直接搬送し、医師及び看護師に引継ぐ。 5月9日 出 動 ————— 11:08 収容 先着 ————— 11:23 引継 完了 ————— 11:33 帰 隊 ————— 11:42	0:24
11	山岳	R4.8.28(日)15:25 ○津市消防本部 <発生場所> 津市芸濃町河内地内 錫杖ヶ岳山頂付近	下山中の男性1名が斜面から滑落したとの通報により、救助の要請があったもの。 捜索を実施するも発見に至らず、航空隊員1名を降下させ要救助者を捜索する。 ヘリは燃料給油のため基地帰投し給油後、現場上空へ再飛来しエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 ① 出 動 ————— 15:43 現着 捜索 ————— 15:55 現場 離脱 ————— 16:56 要救 発見 ————— 16:59 帰 隊 ————— 17:02 ② 出 動 ————— 17:37 収容 離脱 ————— 17:59	1:41
12	救急 救助からの 移行	R4.8.28(日)15:25 ○津市消防本部 <発生場所> 津市芸濃町河内地内 錫杖ヶ岳山頂付近	救助後、津市伊勢湾ヘリポートに帰投し、津市消防本部救急隊に引継ぐ。 出 動 ————— 17:59 帰 隊 ————— 18:07 引継 完了 ————— 18:07	0:08
13	山岳	R4.9.10(土)13:01 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町 大貝戸地内 藤原岳山頂付近	男性1名が熱中症様の症状を発症し、傾眠傾向との通報により救助の要請があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 13:34 現着 捜索 ————— 13:51 救助 開始 ————— 13:58 救助 完了 ————— 14:17	0:43

出動件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行時間
14	救急 救助からの移行	R4.9.10(土)13:01 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町 大貝戸地内 藤原岳山頂付近	救助後、三重県立総合医療センターへ直接搬送し、医師及び看護師に引継ぐ。 出 動 ————— 14:17 収 容 先 着 ————— 14:29 引 継 完 了 ————— 14:34 帰 隊 ————— 14:46	0:24
15	山 岳	R4.9.15(木)18:40 ○松阪地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 松阪市飯高町蓮地内 青空平付近	松阪地区広域消防組合消防本部へ、男性1名が行方不明との通報があり、消防隊を出動させたが発見に至らず、同消防本部より翌日16日に捜索範囲を広げるため消防隊員投入の要請があったもの。 現場上空から消防隊員投入ポイントの青空平を確認後、消防隊員搭乗地点である津本公園から、2名ずつ3回、計6名の消防隊員投入後、帰投する。 9月16日 出 動 ————— 07:06 津本公園着 ————— 07:40 ① 2名搭乗離陸 — 07:49 2名搭乗離陸 — 08:18 2名搭乗離陸 — 08:33 2名投入完了 — 08:13 2名投入完了 — 08:25 2名投入完了 — 08:39 着陸2名搭乗 — 08:17 着陸2名搭乗 — 08:30 津本公園着活動終了 ————— 08:44 津 本 公 園 離 陸 ————— 08:45 帰 隊 ————— 09:01	1:40
16	山 岳	R4.9.16(金)13:25 ○松阪地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 松阪市飯高町蓮地内 ドッサリ滝付近	午前中に隊員投入を実施した山岳救助隊員から要救助者を発見したが、搬送困難なためヘリコプターによる救助の要請があったもの。 航空隊員2名を降下させレスキューストレッチャーにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 14:30 現 着 捜 索 ————— 14:52 救 助 開 始 ————— 15:06 救 助 完 了 ————— 15:47	1:17
17	救急 救助からの移行	R4.9.16(金)13:25 ○松阪地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 松阪市飯高町蓮地内 ドッサリ滝付近	救助後、津本公園にて松阪地区広域消防組合消防本部救急隊に引継ぐ。 出 動 ————— 15:47 収 容 先 着 ————— 15:53 引 継 完 了 ————— 16:03 帰 隊 ————— 16:20	0:23
18	山 岳	R4.9.25(日)13:03 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字杉谷地内 岩ヶ峰尾根 登山道付近	男性1名が滑落し声かけに返事がないとの通報により、救助の要請があったもの。現場上空にて地上消防隊員を確認するも現場上空の気流が不安定、また地上消防隊員活動現場での吊り上げ救助は不可能であったため帰投する。 出 動 ————— 16:20 現 着 捜 索 ————— 16:33 現 場 離 脱 ————— 16:52 帰 隊 ————— 17:04	0:44
19	山 岳	R4.9.26(月)13:50 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字杉谷地内 岩ヶ峰尾根 登山道付近	No.18に引き続き要請があったもの。 消防隊は昨日、日没までに要救助者を発見できず、26日から活動再開し消防隊は要救助者と接触するも救出搬送困難なため、救助の要請があったもの。航空隊員2名を降下させレスキューストレッチャーにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 14:30 現 着 捜 索 ————— 14:45 救 助 開 始 ————— 14:55 救 助 完 了 ————— 15:19	0:49
20	救急 救助からの移行	R4.9.26(月)13:50 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字杉谷地内 岩ヶ峰尾根 登山道付近	救助後、菰野町役場南三滝川堤防に着陸し、要救助者を菰野町消防本部消防隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 ————— 15:19 収 容 先 着 ————— 15:24 引 継 完 了 ————— 15:30 帰 隊 ————— 15:45	0:20
21	山 岳	R4.9.27(火)09:00 ○松阪地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 松阪市飯高町蓮地内 高滝付近	男性1名が川にうつ伏せで倒れており、心肺停止状態。心肺蘇生を実施するも反応がなく救助の要請があったもの。 航空隊員2名を降下させレスキューストレッチャーにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 09:35 現 着 捜 索 ————— 09:55 救 助 開 始 ————— 10:08 救 助 完 了 ————— 10:40	1:05

出動 件数	種 別	要請日時・要請機関	概 況	飛行 時間
22	救 急 救助から の移行	R4.9.27(火)09:00 ○松阪地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 松阪市飯高町蓮地内 高滝付近	救助後、津本公園にて松阪地区広域消防組合消防本部救急隊に引継ぐ。 出 動 ————— 10:40 収 容 先 着 ————— 10:44 引 継 完 了 ————— 10:52 帰 隊 ————— 11:07	0:19
23	山 岳	R4.10.19(水)11:00 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字菰野地内 御在所岳中道登山道 7合目付近	4名パーティーの内男性1名が左足首を捻挫し動けないとの通報により、 救助の要請があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 11:41 現 着 捜 索 ————— 11:53 救 助 開 始 ————— 12:09 救 助 完 了 ————— 12:31	0:50
24	救 急 救助から の移行	R4.10.19(水)11:00 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字菰野地内 御在所岳中道登山道 7合目付近	救助後、三重県立総合医療センターへ直接搬送し、医師及び看護師に引継ぐ。 出 動 ————— 12:31 収 容 先 着 ————— 12:38 引 継 完 了 ————— 12:44 帰 隊 ————— 12:55	0:18
25	山 岳	R4.10.20(木)14:20 ○紀勢地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 多気郡大台町 岩井地内 古ヶ丸山付近	下山中、道迷いとの通報により、救助の要請があったもの。 現場上空到着後、間もなく地上消防隊が要救助者を確保したとの無線を傍受し、 指揮本部に事案完了を確認、現場離脱、帰投する。 出 動 ————— 15:11 現 着 捜 索 ————— 15:28 現 場 離 脱 ————— 15:35 帰 隊 ————— 15:51	1:41
26	山 岳	R4.10.23(日)13:43 ○東近江行政組合 消防本部 <発生場所> 滋賀県東近江市 甲津畑地先 コクイ谷付近	単独登山中、道迷いとの通報により、救助の要請があったもの。 滋賀県防災ヘリ「琵琶」は耐空検査に伴い運休中であることから、 「三重県・滋賀県航空消防防災相互応援協定」に基づき出動する。 現場上空到着後、航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を 機内収容する。 出 動 ————— 14:18 現 着 捜 索 ————— 14:32 救 助 開 始 ————— 14:49 救 助 完 了 ————— 15:28	1:10
27	救 急 救助から の移行	R4.10.23(日)13:43 ○東近江行政組合 消防本部 <発生場所> 滋賀県東近江市 甲津畑地先 コクイ谷付近	救助後、大阪航空日野ヘリポートへ直接搬送し、東近江行政組合消防本部救急 隊に引継ぐ。 出 動 ————— 17:56 収 容 先 着 ————— 18:08 引 継 完 了 ————— 18:15 帰 隊 ————— 18:24	0:26
28	山 岳	R4.10.30(日)15:22 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市北勢町別名 地内藤原岳 孫太尾根付近	男性1名が道に迷い滑落、両膝負傷したとの通報により、救助の要請があった もの。 航空隊員2名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 15:47 現 着 捜 索 ————— 16:04 救 助 開 始 ————— 16:19 救 助 完 了 ————— 16:33	0:46
29	救 急 救助から の移行	R4.10.30(日)15:22 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市北勢町別名 地内藤原岳 孫太尾根付近	救助後、津市伊勢湾ヘリポートに帰投し、津市消防本部救急隊に引継ぐ。 出 動 ————— 16:33 帰 隊 ————— 16:48 引 継 完 了 ————— 16:48	0:15
30	救 急 転院搬送	R4.10.29(土)10:00要請 R4.11.8(火)09:53離陸 ○津市消防本部 <発生場所> 搬送元:三重中央医療センター 搬送先:慶応義塾大学病院	津市伊勢湾ヘリポートにて津市消防本部救急隊から患者を引継ぎ、医師1名 看護師1名を同乗させ、東京ヘリポートまで搬送する。 出 動 ————— 09:53 搬送先着陸 ————— 11:23 搬送先離陸 ————— 12:14 帰 隊 ————— 13:53	3:09

出動件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行時間
31	山岳	R4.11.14(月)13:35 ○松阪地区広域消防組合消防本部 <発生場所> 松阪市岩内町地内 岩内川上流山中	男性が交通事故後、横滝寺へ向かうも道に迷い、救助の要請があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 14:00 現 着 捜 索 ————— 14:05 救 助 開 始 ————— 14:22 救 助 完 了 ————— 14:53	0:53
32	救急 救助からの 移行	R4.11.14(月)13:35 ○松阪地区広域消防組合消防本部 <発生場所> 松阪市岩内町地内 岩内川上流山中	救助後、松ヶ崎公園にて松阪地区広域消防組合消防本部救急隊に引継ぐ。 出 動 ————— 14:53 収 容 先 着 ————— 14:58 引 継 完 了 ————— 15:04 帰 隊 ————— 15:11	0:12
33	山岳	R4.11.15(火)10:29 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町杉谷地内 尾高山	女性1名が遭難したとの通報により、救助の要請があったもの。 航空隊員2名を降下させレスキューストレッチャーにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 12:24 現 着 捜 索 ————— 12:39 救 助 開 始 ————— 12:56 救 助 完 了 ————— 13:29	1:05
34	救急 救助からの 移行	R4.11.15(火)10:29 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町杉谷地内 尾高山	救助後、菰野町役場南三滝川堤防に着陸し、要救助者を菰野町消防本部消防隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 ————— 13:29 収 容 先 着 ————— 13:35 引 継 完 了 ————— 13:43 帰 隊 ————— 13:55	0:18
35	山岳	R4.11.19(土)10:35 ○津市消防本部 <発生場所> 津市芸濃町河内地内 稲子山山頂 北西300m付近	女性1名が登山中道に迷い、救助の要請があったもの。 現場上空到着後、間もなく要救助者を発見し指揮本部へ報告。救出ポイントを選 定し、航空隊員2名の現場投入を試みるも地上は急傾斜であり活動不可と判断。 その後、地上隊が要救助者に接触し、地上での救出可能と判断され、帰投する。 出 動 ————— 11:16 現 着 捜 索 ————— 11:23 現 場 離 脱 ————— 12:21 帰 隊 ————— 12:28	1:12
36	山岳	R4.11.30(水)23:12 ○鈴鹿市消防本部 <発生場所> 鈴鹿市小岐須町地内 入道ヶ岳二本松コース 通報ポイント5番付近	男性1名が登山中、両大腿部の痙攣により動けないとの通報により、救助の要請 があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 12月1日 出 動 ————— 08:47 現 着 捜 索 ————— 09:00 救 助 開 始 ————— 09:10 救 助 完 了 ————— 09:26	0:39
37	救急 救助からの 移行	R4.11.30(水)23:12 ○鈴鹿市消防本部 <発生場所> 鈴鹿市小岐須町地内 入道ヶ岳二本松コース 通報ポイント5番付近	救助後、鈴鹿川防災ステーションに着陸し、要救助者を鈴鹿市消防本部救急隊 に引継ぎ、帰投する。 12月1日 出 動 ————— 09:26 収 容 先 着 ————— 09:34 引 継 完 了 ————— 09:38 帰 隊 ————— 09:48	0:18
38	水難	R4.12.2(金)13:42 ○四日市市消防本部 <発生場所> 四日市市楠町小倉 磯津漁港沖合約2km	ボートが浸水、ライフジャケットを着けてないとの通報により、救助の要請があつた もの。離陸して間もなく三重県水難救済会の船にて要救助者及び当該船舶を 確保との無線を傍受するも確認のため現場へ向かい、上空から海上保安庁巡視 艇「サルビア」へ要救助者及び当該船舶を引き継いでいる旨を確認するとともに、 防災相互波にて海上保安庁と無線交信を行い、要救助者の状態を確認したの ち現場を離脱、伊勢湾ヘリポートへ帰投する。 出 動 ————— 14:07 現 着 ————— 14:15 現 場 離 脱 ————— 14:27 帰 隊 ————— 14:35	0:28

出動件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行時間
39	山岳	R4.12.4(日)11:46 ○熊野市消防本部 <発生場所> 熊野市神川町神上 地内 土場隧道付近	山中にて猟をしていたところ仲間が滑落したとの通報により、救助の要請があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 12:22 現 着 捜 索 ————— 12:49 救 助 開 始 ————— 13:16 救 助 完 了 ————— 13:45	1:23
40	救急 救助からの 移行	R4.12.4(日)11:46 ○熊野市消防本部 <発生場所> 熊野市神川町神上 地内 土場隧道付近	救助後、三重県広域防災拠点(東紀州〔紀南〕拠点)に着陸し、要救助者を熊野市消防本部救急隊に引継ぎ、備蓄ドラム燃料1本を給油の後、帰投する。 出 動 ————— 13:45 収 容 先 着 ————— 13:56 引 継 完 了 ————— 14:48 帰 隊 ————— 15:21	0:44
41	山岳	R4.12.5(月)13:13 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町地内 藤原岳孫太尾根 登山道付近	登山中、足を骨折し動けないとの通報により、救助の要請があったもの。 航空隊員2名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 13:42 現 着 捜 索 ————— 13:59 救 助 開 始 ————— 14:09 救 助 完 了 ————— 14:52	1:10
42	救急 救助からの 移行	R4.12.5(月)13:13 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町地内 藤原岳孫太尾根 登山道付近	救助後、いなべ市ヘリポートに着陸し、要救助者を桑名市消防本部救急隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 ————— 14:52 収 容 先 着 ————— 14:55 引 継 完 了 ————— 15:00 帰 隊 ————— 15:14	0:17
43	山岳	R4.12.5(月)10:36 ○鈴鹿市消防本部 <発生場所> 鈴鹿市大久保町地内 入道ヶ岳 宮妻林道付近	11月28日から行方不明となっていた登山者2名を発見したとの通報により、救助の要請があったもの。 航空隊員2名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 15:35 現 着 捜 索 ————— 15:45 救 助 開 始 ————— 15:53 救 助 完 了 ————— 16:17	0:42
44	救急 救助からの 移行	R4.12.5(月)10:36 ○鈴鹿市消防本部 <発生場所> 鈴鹿市大久保町地内 入道ヶ岳 宮妻林道付近	救助後、鈴鹿川防災ステーションに着陸し、要救助者を鈴鹿市消防本部救急隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 ————— 14:52 収 容 先 着 ————— 14:55 引 継 完 了 ————— 15:00 帰 隊 ————— 15:14	0:13
45	山岳	R4.12.10(土)10:20 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町菰野地内 御在所岳中道登山道 おばれ岩付近	2名パーティーの内、女性1名が登山中、気分不良(めまい、嘔吐、頭痛)により動けないとの通報により救助の要請があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 11:03 現 着 捜 索 ————— 11:17 救 助 開 始 ————— 11:28 救 助 完 了 ————— 11:47	0:44
46	救急 救助からの 移行	R4.12.10(土)10:20 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町菰野地内 御在所岳中道登山道 おばれ岩付近	救助後、菰野町役場南三滝川堤防に着陸し、要救助者を菰野町消防本部消防隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 ————— 13:29 収 容 先 着 ————— 13:35 引 継 完 了 ————— 13:43 帰 隊 ————— 13:55	0:18
47	山岳	R4.12.11(日)11:36 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市大安町 石樽地内竜ヶ岳 遠足尾根登山道付近	男性1名が登山中に両足が攣り、歩行困難となり、救助の要請があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 12:02 現 着 捜 索 ————— 12:18 救 助 開 始 ————— 12:26 救 助 完 了 ————— 12:49	0:47

出動件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行時間
48	救急 救助からの移行	R4.12.11(日)11:36 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市大安町 石樽地内竜ヶ岳 遠足尾根登山道付近	救助後、いなべ市ヘリポートに着陸し、要救助者を桑名市消防本部救急隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 ————— 12:49 収 容 先 着 ————— 12:56 引 継 完 了 ————— 13:00 帰 隊 ————— 13:17	0:24
49	山岳	R4.12.15(木)08:07 ○奈良県広域消防 組合消防本部 <発生場所> 奈良県吉野郡 上北山村地内 和佐又山小普賢から 大普賢東側斜面付近	2名パーティーの内、男性1名が熊に襲われ約30m落下したとの通報により、救助の要請があったもの。 奈良県防災ヘリ「やまと2000」は耐空検査に伴い運休中であることから、「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」に基づき出動する。 現地へ出動するも上空の気流不安定により救助活動困難と判断。 松阪市飯高町地内で引き返し帰投する。 出 動 ————— 09:33 途 中 離 脱 ————— 09:51 帰 隊 ————— 10:07	0:34
50	山岳	R5.1.3(火)14:25 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町 大貝戸地内 藤原岳大貝戸登山道 9合目付近	2名パーティーの内、女性1名が下山中、左足首を負傷し歩行不可との通報により、救助の要請があったもの。 現場付近到着したが、降雪及び視界不良のため活動不可と判断、基地帰投する。 出 動 ————— 15:16 現 着 ————— 15:36 現 場 離 脱 ————— 15:37 帰 隊 ————— 15:52	0:36
51	救急 臓器搬送	R5.1.5(木)14:35 ○四日市市消防本部 <発生場所> 搬送元:三重県立 総合医療センター 搬送先:県営名古屋空港	臓器移植ネットワークを通じて四日市市消防本部から、臓器搬送の依頼があったもの。 1月6日 出 動 ————— 07:28 県 総 着 陸 ————— 07:42 県 総 離 陸 ————— 07:57 名 古 屋 着 陸 ————— 08:14 名 古 屋 離 陸 ————— 08:27 帰 隊 ————— 08:54	0:58
52	消火	R5.2.8(水)13:40 ○松阪地区広域消防 組合消防本部 <発生場所> 松阪市山添町地内	竹藪から白煙が上がっているとの通報により、空中消火の要請があったもの。 火災現場上空にて火災状況を目視で確認後、松阪市総合運動公園でバンビマックスを取り付け後、ため池にて給水を実施。合計17回散水後、活動限界を迎えたため現場指揮本部にその旨を報告後、消火活動終了し、松阪市総合運動公園へ着陸後、バンビマックスを取外し、基地帰投する。 出 動 ————— 14:08 現 着 取 付 ————— 14:24 場 外 離 陸 ————— 14:34 現 場 離 脱 ————— 15:43 着 陸 取 外 ————— 15:46 場 外 離 陸 ————— 15:50 帰 隊 ————— 16:01	1:39
53	山岳	R5.3.3(金)10:53 ○伊勢市消防本部 <発生場所> 伊勢市上野地内 鷲嶺登山道付近	男性1名が下山中に転倒負傷し歩けないとの通報により、救助の要請があったもの。 航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 ————— 11:35 現 着 捜 索 ————— 11:45 救 助 開 始 ————— 12:30 救 助 完 了 ————— 13:01	1:26
54	救急 救助からの移行	R5.3.3(金)10:53 ○伊勢市消防本部 <発生場所> 伊勢市上野地内 鷲嶺登山道付近	救助後、伊勢赤十字病院屋上ヘリポートにて、医師に要救助者を引継ぎ帰投する。 出 動 ————— 13:01 収 容 先 着 ————— 13:07 引 継 完 了 ————— 13:13 帰 隊 ————— 13:23	0:16

出動件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行時間
55	消火	R5.3.5(日)13:50 ○熊野市消防本部 <発生場所> 南牟婁郡美浜町 上市木地内 回廻橋付近	火災が発生し山へ延焼のおそれがあるとの通報により、空中消火の要請があったもの。 基地離陸し、多気郡大台町上空付近にて、熊野市消防本部から火災は鎮圧し、延焼のおそれなくなったことから防災ヘリコプターによる消火は不要との無線を傍受したため、反転帰投する。 出 動 _____ 14:37 途中引揚 _____ 14:47 帰 隊 _____ 15:13	0:26
56	救急 転院搬送	R5.3.6(土)12:55 ○津市消防本部 <発生場所> 搬送元:三重大学医学部 付属病院 搬送先:あいち小児保健 医療総合センター	三重大学医学部付属病院屋上ヘリポートにて、患者及び医師3名を同乗させ離陸。あいち小児保健医療総合センター屋上ヘリポートに着陸し、患者及び医師3名を引継ぎ、離陸し帰投する。 出 動 _____ 13:11 搬送元着陸 _____ 13:18 搬送元離陸 _____ 13:42 搬送先着陸 _____ 14:00 搬送先離陸 _____ 14:18 帰 隊 _____ 14:40	0:47
57	山岳	R5.3.9(木)14:35 ○湖北地域消防本部 <発生場所> 滋賀県米原市 番場地先鎌刃城跡	7日から行方不明の男性1名を9日朝から地上隊で捜索するが、上空からも捜索をしてほしいとの通報により滋賀県より応援の要請があったもの。 滋賀県防災ヘリ「琵琶」は機体点検に伴い運休していることから、「三重県・滋賀県航空消防防災相互応援協定」に基づき出動する。 現場上空到着後、航空隊員1名を降下させ現場指揮本部へ投入する。その後、捜索活動を開始したが発見には至らず、給油のため、日野基地に帰投する。給油後、大阪航空日野基地を離陸し再度捜索を開始するも発見には至らず、活動限界のため捜索活動は終了、現場指揮本部へ投入した航空隊員1名を回収し、基地帰投する。 出 動 _____ 08:58 現 着 _____ 09:18 隊 員 投 入 _____ 09:33 捜 索 開 始 _____ 09:36 日 野 着 陸 _____ 10:37 日 野 離 陸 _____ 11:22 捜 索 開 始 _____ 11:31 隊 員 回 収 _____ 12:44 帰 隊 _____ 13:06	3:23
58	消火	R5.3.11(土)12:31 ○伊賀市消防本部 <発生場所> 伊賀市島ヶ原地内	枯草から林野へ延焼中との通報により、空中消火の要請があったもの。 火災現場上空にて火災状況を目視で確認後、場外離着陸場(島ヶ原小・中学校グラウンド)にてバンビマックスを取り付け後、ため池にて給水を実施。 現場指揮本部の指示する場所への消火活動を実施する。 合計13回(8,800)散水後、活動限界を迎えたため消火活動を終了し、場外離着陸場へ着陸後、バンビマックスを取外し、基地帰投する。 出 動 _____ 13:31 現 着 取 付 _____ 14:00 場 外 離 陸 _____ 14:08 現 場 離 脱 _____ 15:16 着 陸 取 外 _____ 15:20 場 外 離 陸 _____ 15:25 帰 隊 _____ 15:38	1:54
59	救急 臓器搬送	R5.3.15(水)16:09 ○四日市市消防本部 <発生場所> 搬送元:三重県立 総合医療センター 搬送先:国立循環器病 研究センター	臓器移植ネットワークを通じて四日市市消防本部から、臓器搬送の依頼があったもの。 3月16日 出 動 _____ 06:06 県 総 着 陸 _____ 06:31 県 総 離 陸 _____ 06:37 搬送先着陸 _____ 07:07 搬送先離陸 _____ 07:11 帰 隊 _____ 07:39	1:23
60	救急 転院搬送	R5.3.30(木)09:55 ○津市消防本部 <発生場所> 搬送元:新宮市立 医療センター 搬送元:三重大学医学部 付属病院	三重大学医学部付属病院屋上ヘリポート→紀南ヘリポート→三重大学医学部付属病院屋上ヘリポート 三重大学医学部付属病院の医師1名を紀南ヘリポートまで医師搬送し、生後4ヶ月の乳児を医師と共に三重大学医学部付属病院まで搬送依頼があったもの。 出 動 _____ 10:28 三重大着陸 _____ 10:35 三重大離陸 _____ 10:39 紀 南 着 陸 _____ 11:13 紀 南 離 陸 _____ 11:26 三重大着陸 _____ 12:00 三重大離陸 _____ 12:05 帰 隊 _____ 12:11	1:21